

実施名：「茶道」についての理解

実施日： 4/18、20、25、27(全4回)



ALTとお茶を立てている様子

実施内容 裏千家茶道師範 立田先生より、茶や歴史、作法について説明を受けたあと、三種の礼懐紙の使い方・茶の点て方等を学ぶ。

生徒感想 ・一番驚いたことは、掛け軸を描いてくれた人にも感謝するという意味で掛け軸にも礼をすることです。

・ブライアン先生も抹茶を普通に飲んでいたので、日本人でも外国人でもそんなに味覚は変わらないのかと思った。

・日本の良い伝統を外国人が理解できるように、僕も将来外国人に教えられるような人になりたいです。

実施名：「和服」を通した日本文化理解

実施日： 5/2、9、11、25、30(全5回)

実施内容 和服の立ち振る舞い・礼儀作法を習得。着付け後、茶の点て方も学ぶ。

生徒感想 ・私は一生のうちで浴衣が着れるようになるなんて思っても無かったです。ありがとうございました。

・帯があんなにもたくさんの結び方があるなんて知りませんでした。着物を着る機会があれば、役に立てたいです。

・やってみたら結構簡単で、自分で着れるようになって嬉しかった。夏祭りには自分で気着てみようと思う。



各自着付けの様子

実施名：郷土の歴史を学ぶ

実施日： 6/1、13(全2回)



旧高砂銀行建物(現商工会議所)を見入っている様子

実施内容 旧高砂銀行建物や十輪寺、旧高砂港、旧高砂城、旧高砂線跡などや農人町通り、旧鐘紡工場である本校を巡見・確認。

生徒感想 ・毎日見ている物も、また違った物に見えた。高砂に鉄道が通っていたのなんか全然知らなかった。

・昔ここで武士が戦い、昔ここに駅があると聞いて、自然に興味を湧いてきて、もっと知りたくなりました。

・知れば知るほど面白かったです。今日も帰る時に、何となく通るのではなく、いろいろな建物を見ながら帰ろうと思います。

実施名：「立花」を学ぶ
実施日： 6/6、8(全2回)



ひまわりを活けている様子

実施内容 英語科の野崎先生より、宗月流の立花について学ぶ。英文で説明を受け、花器や不均衡の美等を知り、実際に活け展示。

生徒感想 ・自分の中で不均衡にしたつもりでも、「もっと不均衡にしてね」と言われた時、意外と難しいなと思いました。

・花を切る角度とか大きさとかちゃんと決まってるんだと思いました。そんなに難しく無かったのでうまく出来ました。

・どんなバランスにしたらいいとか悩みました。でも出来た瞬間とても嬉しかったです。

実施名：ALTによる講義
実施日： 6/15、22(全2回)

実施内容 ALT ブライアン先生より、異文化理解、国際理解とは何かを体感する。また映画を用い、日米文化の違いについて学ぶ。

生徒感想 ・日本で礼儀が良いことでも外国であれば礼儀が悪いこともあることを知りました。日本は、一人ひとりがもっと外国人の接し方を改め、気をつけるべきだと思いました。

・日本人は少し知っている人でも挨拶もせず知らん顔をする。話し手から目を逸らすと、バカだと思われる。など、アメリカと日本は違うところがいっぱいあると思いました。



映画を観た後の、ディスカッションの様子

実施名：琴に親しむ
実施日： 6/20、27(全2回)



「さくら・さくら」練習の様子

実施内容 琴師範 長谷川先生より、歴史・流派・名称・由来などについて学び、名曲の「さくら・さくら」を様々な奏法で弾く。

生徒感想 ・早く指を変えなければならぬ所もあって難しかったけど、最後まで弾けて嬉しかった。

・最初は簡単に引けると思っていましたが、実際は弦の場所によって音が全然違ったりして大変でした。

・弱く弾けば、なんだか情けない音になってしまうので、なるべく強く弾くように心掛けました。すると、綺麗な音が出るようになりました。

実施名：VTRを用いて「JICAの海外活動」を学ぶ
実施日： 7/13、18(全2回)



VTRに関心を寄せている様子

実施内容 シリアにおける水道事業、及びフィリピンにおける航空管制業務に対する協力事業について学ぶ。

生徒感想 ・鈴木さんのように、海外でボランティア活動をしている日本人の姿を見て、やっぱりボランティアは世界共通なんだと改めて実感した。

・人々が生きるためには欠くことのできない水に関する仕事で、水漏れを現地の人とともに直したり、日本の航空管制官がフィピンに行き、現地の人に管制官の要請を行なうなど、非常に素晴らしいと思いました

実施名：神戸製鋼所の高炉見学
実施日： 7/20(全1回)

実施内容 工場敷地内の高炉、圧延工程及び、20万tの鉱石専用運搬船等を見学。

生徒感想 ・高炉を見てから厚板工場へ。製鉄所の人から熱いと聞いていたけど、本当に熱い。また溶鋼が自分の前を通るとき、肌がヒリヒリして汗かいた。よい体験だった。

・熱い、長いと思いながら出来上がる途中の鉄を見ていた。数秒後には、あまりの熱さに目があけられなくなり、手で目を軽く覆いながらも、その隙間から何とか見ていた。他には、近隣の住宅や環境問題にも気を使っている事が分かったときは、実に驚いた。



熱さに耐えながら工程を見つめる様子

その他活動時の写真



茶道と着付けのコラボレーション



ALTとの記念撮影

実施名：「能」について学ぶ。謡曲『高砂』を学ぶ。
実施日：9/5、7(全2回)



能の持つ迫力に生徒は驚くばかり

実施内容 観世流師範・松本氏の講義。能の歴史、言葉、『高砂』成立の由来などについて知る。師範から歌の披露後、生徒と練習に勤しむ。

生徒感想 ・能のお面を生で見たことがなかったので、お面の小ささ、細かさには驚きました。私には、怒っているようにしか見えなかったお面が、実は、泣いているお面だということを知って、面白かったです。

・声のトーンや息継ぎするタイミング、発音などすべてが初めてで、謡を歌うときに難しく歌うことができませんでした。現代の歌ばかりを聞くのではなく、昔の歌を聴くことによって新たに発見することができて良かったです。

実施名：近隣大手企業の海外駐在経験者を招き、経験談を語って貰う
実施日：9/12、14(全2回)

実施内容 住友金属鉱山(株) 業務部主任 東前氏より、フィリピン・リオツバ鉱山に駐在した時の経験を語る。

生徒感想 ・フィリピンはぜんぜん開発されていなくて森という感じのイメージだったけど、マニラは都会でびっくりしました。

・将来は仕事で海外へ行くことがあるかもしれないので、とても良い話を聞かせていただいたと思う。

・“どんな企業でも、海外進出のためにはその国の人に理解を得ることが大切である。”私の印象に一番残ったことです。



人の明るさや家族思いのエピソードが心に響く

実施名：JICA職員を講師招聘(国際協力機構職員)
実施日：9/19(全1回)



「自国文化を理解してから、外国へ行くべきだ」と語る

実施内容 段原里美氏より、音楽指導者としてフィリピンへ2年間赴任した体験談をユーモアを交えて語って貰う。JICA事業・日本政府の発展途上国への援助についても学ぶ。

生徒感想 ・青年海外協力隊の活動は、音楽や野球や手芸などいろいろあってビックリした。最後にフィリピンでのオーケストラのテープを聴いて、私も吹きたいと思った。

・文化というのは、外国でも日本でも大切さは同じだということが分かった。

・話の中で一番おもしろいと思ったことは、演奏会の大事なリハーサルよりも、お父さんの誕生日の方を大切にすることです。